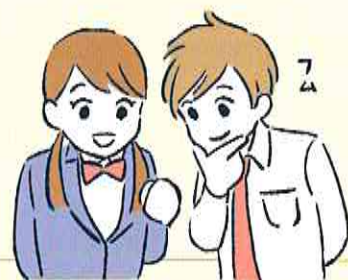
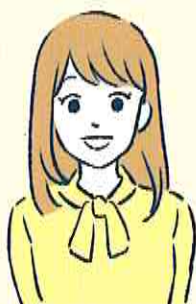


様々な支援制度を利用して がんばっている先輩達の事例を 見てみよう。



県内の国立大学 [自宅]

[日本学生支援機構貸与奨学金 第一種・第二種]



高校の時から奨学金を利用して
います。学費の一部を
自分で借りたお金で払って
いると思うと一段と勉強に
身が入ります。

[収入] 95,000円

第一種 45,000円
第二種 50,000円

[支出] 87,294円

授業料^{※2} 44,650円
生活費^{※3}
・食費、住居費 11,431円
・教育娯楽費等 14,007円
・その他 17,206円

県外の国立大学 [自宅外]

[日本学生支援機構貸与奨学金 第一種・第二種]+アルバイト



自分の未来は自分で切り開
く。そんな思いで奨学金を
利用しました。自営業を営
んでいる両親にも負担をかけた
くなかった。

[収入] 141,000円

第一種 51,000円
第二種 80,000円
アルバイト^{※1} 10,000円

[支出] 129,996円

授業料^{※2} 44,650円
生活費^{※3}
・食費 20,217円
・住居費 36,348円
・教育娯楽費等 14,200円
・その他 14,581円

先輩達の声



約20年前、学生生活のほとんどに
おいて奨学金による支援のおかげで、
両親の負担が軽減され、私自身、
勉学や学生生活が大変充実しま
した。現在は就職・結婚・子育て
に忙しく暮らしています。
無事に金額を返還することができ
て嬉しくあります。今度こそ学生
の経済的支援をより多くお願い
したいです。長期にわたりお世
話になりました。ありがとうございました。

このたび、奨学金の返還完了証をいただき
ました。無事、返還を終えることができ、
正直、ほっとしているところです。受験を
控えていた最中に阪神大震災により家は半
壊しました。なんとか大学に合格したもの
の、学費が大きな悩みでした。奨学金のお
かげで大学に通うことができ、多くの仲間
に出会えたことが、今の私にとっての大き
な財産です。

今日で全額お返ししました。美術大学を卒
業し、障害をもつ子どもたちの学校で図工、
美術・工芸の授業をしてきました。車いす
の子どもたちに絵を教えるのが夢だったの
で、夢が叶いとても感謝しています。あり
がとうございました。これからも夢を叶え
る学生につながっていきますように。

私はお借りした奨学金で夜間部の大学を
卒業し、教員免許と司書の資格を取得する
ことができました。お陰様で現在その資格
を活かし、放課後児童クラブ(学童保育)
の支援員として勤めております。父の病気
などもあり、奨学金制度がなければ大学
に進むことは難しく、又、この制度がなけ
れば今の自分はなかったと思っております。
今では家庭を持ち、二人の子宝にも恵まれ
ました。本当に感謝しております。

私は母子家庭ということもあり、大学に進
学したいと思っていましたが、経済的理由
で諦めようと考えていました。しかし、給
付奨学生の存在を知り、大学への進学を
諦めずに済みました。給付奨学金のお陰で、
現在、授業料、生活費。色々な面で助けら

県内の私立大学 [自宅]

[日本学生支援機構貸与奨学金 第一種・第二種]+アルバイト



中学校から続けていた吹奏楽をさらに高いレベルで続けたくて私立大学に進学。奨学金がなければあきらめていたかもしれません。

[収入] 154,000円

第一種	54,000円
第二種	90,000円
アルバイト※1	10,000円

[支出] 148,371円

授業料※2	105,727円
生活費※3	
・食費、住居費	11,431円
・教育娯楽費等	14,007円
・その他	17,206円

県内(外)の私立大学生 [自宅外]

[日本学生支援機構貸与奨学金 第一種・第二種]+アルバイト



子どもの頃からの憧れだった研究者を目指して関東の大学で勉強しています。学費だけでなく生活費も必要なので、奨学金無しでの進学は考えられませんでした。これからも夢に向かって前進していきます！

[収入] 194,000円

第一種	64,000円
第二種	120,000円
アルバイト※1	10,000円

[支出] 191,073円

授業料※2	105,727円
生活費※3	
・食費	20,217円
・住居費	36,348円
・教育娯楽費等	14,200円
・その他	14,581円

※1/実験や実習などでアルバイトができない学部や試験、就職活動等でアルバイトができない学年もあります。

(1~2年次に月2万円のアルバイト収入を4年間で月割りし算出:(2万円×24月)÷48月=1万円)

※2/授業料は、年額を月額で計算しています。

※3/生活費は、全国の平均値(P6~7参照)のため地域によって異なり、都市部では増額することが見込まれます。返済のことを考えて、借入額を検討する必要があります。また日常生活を節約する工夫もしてみましょう。

◎収入が支出を上回って残る場合は、3・4年次アルバイトができないことや将来の返還のために積み立てておく必要があります。

◎申請しても許可されるとは限りませんが、大学で授業料免除の申請もできます。



先生は食事分のアルバイトで食費かせているよ

れています。大学への進学を諦めなかったことで、学びたいことを学び、求山の友人とともに充実した生活を送ることができています。私のように大学への進学を諦めようと考えている方々に給付奨学金の存在を知り、大学進学を実現させてほしいです。

私は現在、親から仕送りをもらっていませんが、給付奨学金とバイト代で不自由なく生活できています。そのため両親への負担を減らすことができ、下の兄弟の進学も考えられるようになりました。

私は宮崎出身なので都会に憧れを持っていて、中学3年生の時に自分の将来について考えたところ、農学の観点から医療について学現、研究職に就きたいと思い

関東にある農学系の大学を目指して勉強に励んできました。しかし、私は母子家庭で妹もいたので、母からは経済的理由から地元の大学に行くように反対されていました。それでも、どうしても自分の夢を諦めきれず、自分の気持ちを母に伝えたところ、日本学生支援機構の奨学金を借りることを許してくれました。さらに、給付型奨学金もあると知り、それも貰うことにしました。そして、今、この奨学金のおかげで、私は何の不自由もなく関東の農学系の大学に進学することができています。私と同じく経済的理由で親から反対されて自分の進路に悩んでいる方々はたくさんいると思いますが、奨学金を貰うという選択することで、自分の夢を諦めずに頑張りたいです。

私の家庭は父が亡くなり、母一人で私と妹を育てています。また、私は大学へ進学しても野球を続けたいという思いがあり、奨学金を利用して、とても学生生活を送ることができています。

薬学部は他の学部比べて6年と長く学費も高いですが奨学金がもらえたおかげで通うことができています。私は奨学金は交通費や教科書代に使い、遊戯等の自由に使うためのお金はバイトをして稼ぐようにしています。そのため仕送りは必要最低限の金額だけでいいので親の負担を減らすことができていますのかなと思います。

みんなどうやって返還をしているのかな？



[宮崎県育英資金（一般）を利用] ◎宮崎県育英資金の返還期間は貸与期間の4倍以内（最大20年）です。

国公立高校の自宅通学で、貸与月額18,000円を3年間借りた場合

3年間の貸与総額 **648,000円** ◎12年間で返還する場合 **4,500円/月**

私立高校の自宅通学で、貸与月額30,000円を3年間借りた場合

3年間の貸与総額 **1,080,000円** ◎12年間で返還する場合 **7,500円/月**

[日本学生支援機構奨学金を利用] ◎日本学生支援機構の返還期間は最大20年です。

※利率の算定方法として、①利率固定方式（貸与終了時に決定した利率を返還完了まで適用。及び、②利率見直し方式（返還期間中、おおむね5年ごとに見直された利率を適用）のうち、いずれか一方を第二種奨学金を申し込む際に選択する。（利率は年3%が上限）

第一種と第二種を併用した場合 ※第一種のみ、第二種のみ場合はそれぞれの返還額となります。

県内の国立大学生（自宅）



4年間の貸与総額

第一種 2,160,000円

◎14年間で返還する場合 12,857円/月

第二種 2,400,000円

◎20年間で返還する場合 13,483円/月

県外の国立大学生（自宅外）



4年間の貸与総額

第一種 2,448,000円

◎15年間で返還する場合 13,600円/月

第二種 3,840,000円

◎20年間で返還する場合 16,235円/月

県内の私立大学生（自宅）



4年間の貸与総額

第一種 2,592,000円

◎15年間で返還する場合 14,400円/月

第二種 4,320,000円

◎20年間で返還する場合 18,266円/月

県内（外）の私立大学生（自宅外）



4年間の貸与総額

第一種 3,072,000円

◎18年間で返還する場合 14,222円/月

第二種 5,760,000円

◎20年間で返還する場合 24,354円/月

※第二種奨学金の返還月額は2019年3月貸与終了者の利率0.14%で算出

給料から返還していくことになるので、しっかりとした返還計画を立てておきましょう！

大学初任給平均 全国平均203,400円[平成29年（2017年）調査結果]（副省）賃金構造基本統計調査結果]

Q&A コーナー

Q1 複数の奨学金の貸与を受けることができるのかな？

奨学金には、他の奨学金との重複貸与を認めないものもありますので、学校の先生や各問合せ先に確認してください。ただし、複数の貸与が可能であっても、返還の必要な奨学金の場合は、返還時の負担が大きくなるので、将来のことをしっかり考えて判断することが必要です。

Q2 成績があまり良くなくても奨学金は借りられるのかな？

奨学金によっては成績要件があります。借りられるようにしっかり勉強しましょう。

Q3 休学や留年した場合、奨学金はどうなるのかな？

休学や留年、退学した場合、奨学金の貸与はいったん休止または停止される場合があります。将来の目標を達成するためにも、勉学に励みましょう。

Q4 連帯保証人とは？

借りたお金を返せないときに、あなたに代わって返還をする義務のある人（保護者等）のことです。大切なことなので、しっかり説明をした上で連帯保証人になってもらいましょう。

Q5 病気やけがで仕事に就けない場合や収入が少ない場合の返還はどうなるのかな？

返還が困難な場合には、猶予（先延ばし）制度や減額返還制度が利用できる場合がありますので、まずは相談してください。また、そのような事態になった場合も十分に考え、連帯保証人である保護者等とも、どのように返還するかの話し合いも必要です。

Q6 もし、返還をしなかったらどうなるのかな？

正当な理由もなく返還が遅れる場合や返還しない場合には、あなただけでなく、連帯保証人に対しても返還についての文書の送付や自宅訪問などが行われます。それでも返還しない場合は、裁判所に返還請求を申し立てられる場合があるので、返還のことはしっかりと考えてください。

Q7 返還したお金はどうなるの？

卒業したみなさんからの返還金は、次の後輩たちへの奨学金として利用していきます。みなさんの返還が滞ると後輩たちに貸し出す奨学金が足りなくなってしまうので、後輩たちのためにしっかりと返還しましょう。